

平成23年度事業計画

事業計画方針

石谷家住宅は、平成13年の開館から今年4月20日で、10周年を迎えます。

この間、平成21年12月に石谷家住宅が国の重要文化財に指定。全国的に知名度の高い観光施設となってきました。姫鳥線・鳥取自動車道も大原～西粟倉区間を残すだけとなり、智頭・佐用間が35分程で行き来できるようになりました。山陰を訪れる観光客も増えてきましたが、智頭町を通過する観光バスも多いのも事実です。本年度は開館10周年企画として、智頭町、観光協会、地域との連携をさらに図り、原田泰治展やこれまで好評だった展示をおこない、地域住民の方々がもっと利用できる施設としPRをすすめたいと思います。

1 理事会（予定）

H23.05. 平成23年度(財)因幡街道ふるさと振興財団第1回理事会

- ・平成22年度事業報告
- ・平成22年度一般会計収支決算報告
- ・平成22年度特別会計収支決算報告

H24.03. 平成23年度(財)因幡街道ふるさと振興財団第2回理事会

- ・23年度一般会計収支補正予算について
- ・23年度特別会計収支補正予算について
- ・24年度事業計画及び一般会計収支予算について
- ・24年度特別会計収支予算について

2 事業内容

(1) 文化美術品展示事業

ア 楽名品展

これまでの企画のなかでも好評であった「楽名品展」。石谷家コレクションから楽の名品を展示。

イ 牛ノ戸焼・民芸展

昭和5年以降鳥取にて民芸運動を展開した吉田璋也、牛ノ戸焼も影響を受け評価の高い作品を展開してきました。これら牛ノ戸焼窯代々の作品を展示。

ウ 浅田重子パッチワーク展

これまでに3回行いましたが、女性客を中心に人気があり、期間中リピーターが多い展示でした。作品点数が多いので厳選した24点を展示。

エ 前田昭博・白磁作品展

日本伝統工芸作家の第一人者でもあり、鳥取を代表する白磁作家。師匠をもたずに独自の製法で生み出した作品は、繊細で気品がそなわっている。初期頃から新作まで、作家が選んだ作品を展示。

(2) 文化施設交流事業

ア 原田泰治作品展

開館10周年記念特別企画として、石谷家住宅をPRする。諏訪市原田泰治美術館の協力による企画。童謡にちなんだ作品を選び「心の詩・日本の歌」

をテーマ。

イ 石谷コレクション展

鳥取県立博物館に寄贈された数々の作品から、屏風、掛軸、陶磁器など江戸時代、鳥取藩絵師の名品を中心に展示。

(3) 観光振興事業・国際交流事業

ア 「石谷家のお雛様と遊び雛」

石谷家のお雛様と智頭の町並み。毎年恒例行事として全国に発信。智頭町・石谷家住宅の知名度を高め観光客を増やしてゆく。

イ 智頭宿雪まつりと連携。

石谷家住宅「土間」をコンサート会場として提供。

(4) 文化財保護啓発事業

ア 三沢博昭写真展

石谷家住宅開館前からお世話になった故・三沢博昭氏による石谷家住宅の写真展。

(5) 石谷家住宅の管理運営

ア 文化財としての建物及び庭園の管理

庭園特別公開 5月・11月

鳥取県指定「石谷氏庭園」の魅力と庭園から眺める石谷家住宅を楽しむ。

イ 石谷家住宅の施設管理、防火訓練（年2回実施）

消火設備設置位置の確認と消火器具の点検、避難訓練。